



JQA-2631 (全産業用塗料)
JQA-EM3548 (本社工場)

(社)日本塗料工業会登録

登録番号 M03087

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

問い合わせ先 <http://www.toryo.or.jp>

水系 **ボウシニテックスサーモ**

鉛・クロムフリー

厚生労働省指定13物質無配合

ヒートアイランド対策

HERMO

1液型アクリル樹脂エマルジョン塗料

ヒートアイランド現象を抑制し、アウトドア環境を創る

■ ヒートアイランド現象とは

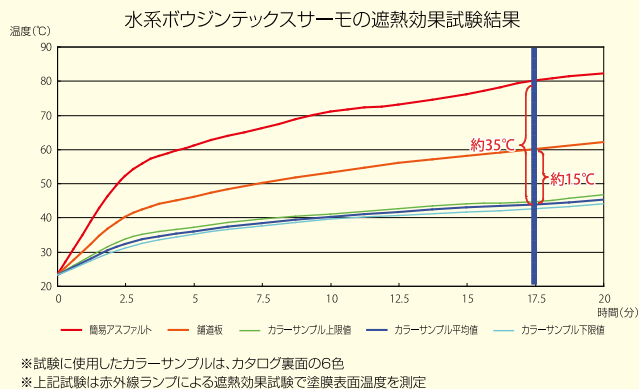
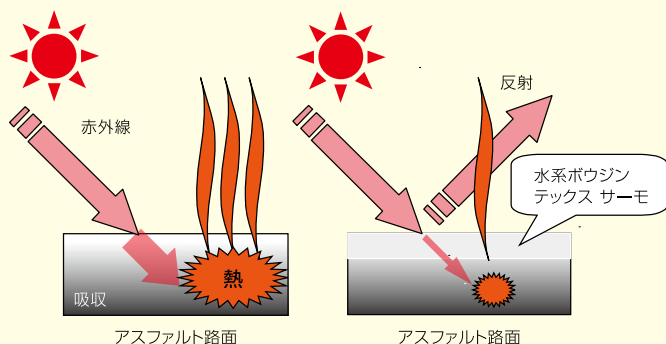
大都市の気温は夏季になると周辺地域と比較して著しく上昇します。都市部に等温線を描くと島のように見えることからヒートアイランド現象と呼ばれています。ヒートアイランド現象はアスファルト舗装、ビルの輻射熱、冷房の排気熱、自動車の排気熱などが原因と言われています。ヒートアイランド現象により、必要以上の冷房電力を消費したり、熱帯夜を引き起こします。

水系ボウジンテックス サーモは路面（アスファルト・コンクリート）に降り注ぐ太陽光の赤外線を大幅に反射することにより、ヒートアイランド現象の対策ができる路面用水系塗料です。

特長

厚生労働省指定 室内空気汚染13物質無配合

- 1 ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆でシックハウス対策も万全。
ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている
- 2 優れた遮熱効果でヒートアイランド対策が可能
- 3 防滑材既調合による防滑仕上げ
- 4 アスファルト床にも使用できる
- 5 1液水分散型で火災や溶剤中毒の危険性がない
- 6 経済的で取扱いが簡単、屋外用途に最適



このような場所にご使用ください。

駐車場、遊歩道、公園のコンクリート・アスファルト面
テニスコート、プールサイド
耐摩耗性、歩行感を要求される歩行用通路



●プールサイド



●遊歩道



●遊園地

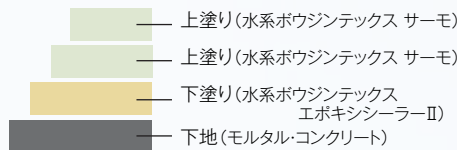


●駐車場

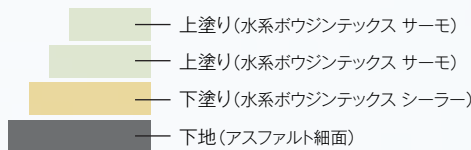
MIZUKEIBOUJINTEX THERMO

塗装工程

■モルタル・コンクリートの場合



■アスファルトの場合（細面の場合）



■アスファルトの場合（粗面の場合）



塗装仕様

■モルタル・コンクリートの場合

工程	使用塗料	希釈割合 清水	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャー又はライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。またクラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下塗り	水系ボウジントックス エポキシシーラーⅡ 主剤7kg 硬化剤7kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~116	60分以内	—	4h以上 48h以内	—
上塗り	水系ボウジントックス サーマ 15kg	0.4~1.8kg	リシンガン ローラー	2	0.4~0.5	15~18	—	2h以上	—	16h以上 完全硬化3日以上

*塗付量には希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。
*注意：上記仕様の下塗り(水系ボウジントックス エポキシシーラーⅡ)の代わりにボウジントックス 強化シーラーも可能です。

■アスファルトの場合（細面の場合）

工程	使用塗料	希釈割合 清水	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新設の場合は2週間以上期間を取り、表面の油分をなくす。転圧が充分行われていることを確認する。(簡易アスファルトの場合は、塗装後、アスファルトが持ち上がってくるので塗装を避ける) アスファルトのくぼみに溜まった土砂を取り除くため、デッキブラシを併用して水洗する。(油分がある場合は洗剤を使用する) 水洗後、自然乾燥する。								
下塗り	水系ボウジントックス シーラー 15kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.2~0.3	50~75	—	2h以上	—
上塗り	水系ボウジントックス サーマ 15kg	0.4~1.8kg	リシンガン ローラー	2	0.4~0.5	15~18	2h以上	—	16h以上 完全硬化3日以上

*塗付量には希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

■アスファルトの場合（粗面の場合）

工程	使用塗料	希釈割合 清水	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新設の場合は2週間以上期間を取り、表面の油分をなくす。転圧が充分行われていることを確認する。(簡易アスファルトの場合は、塗装後、アスファルトが持ち上がってくるので塗装を避ける) アスファルトのくぼみに溜まった土砂を取り除くため、デッキブラシを併用して水洗する。(油分がある場合は洗剤を使用する) 水洗後、自然乾燥する。								
下塗り	水系ボウジントックス シーラー 15kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.2~0.3	50~75	—	2h以上	—
中塗り	水系ボウジントックス サーマ 中塗(白) 20kg	0.5~2.4kg	レーキ ローラー	1	0.6~1.2	16~34	—	2h以上	—
上塗り	水系ボウジントックス サーマ 15kg	0.4~1.8kg	リシンガン ローラー	2	0.4~0.5	15~18	2h以上	—	16h以上 完全硬化3日以上

*塗付量には希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

性能

試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる ガラス板に塗付500μm	2±1
引っかき硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる すり傷	2B
耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる 摩耗輪 CS-17 荷重500g×2・1000回転	75±10
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる 水道水に7日間浸漬	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸漬	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる 硫酸5%水溶液に48時間浸漬	白化
耐温水性	50℃温水に48時間浸漬	異常なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

荷姿

上塗り材	水系ボウジントックス サーマ 15kg
中塗り材	水系ボウジントックス サーマ 中塗(白) 20kg
下塗り材	水系ボウジントックス シーラー 15kg・4kg 水系ボウジントックス エポキシシーラーⅡ 14kgセット (主剤7kg/硬化剤7kg) " 4kgセット (主剤2kg/硬化剤2kg)
	ボウジントックス 強化シーラー 16kg・4kg
希釈剤	ボウジントックス #5000Uシンナー 16L・4L (強化シーラー用)

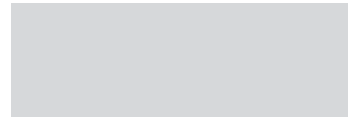
カラーサンプル



サーモライトグリーン
H49-70H近似



サーモライトブルー
H69-60LとH69-70Lの中間程度



サーモライトグレー
HN-70近似



サーモベージュ
H19-60F近似



サーモライトブラウン
H09-40L近似



サーモダークグレー
HN-55近似

注)このサンプルは印刷のため、実際の色とは差があります。
日塗工標準色のナンバーを記載していますが、近似色ですので、あくまで参考としてください。

注意事項

【仕様全般】

1. 気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、乾燥不良をおこすことがありますので施工を避けてください。
2. モルタルコンクリート養生後、多量の水がこぼれた箇所は1週間程十分に乾燥させてください。
3. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には十分注意してください。
4. 塗装中に開放して放置しますと上乾きする事がありますので注意してください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
5. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
6. 排気溝には捨てないでください。
7. 静電気をさらう床には塗装しないでください。
8. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
9. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、十分に配慮をお願いします。
10. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

1. 水系ポウジンテックス シーラーと上塗り塗料との混合は絶対に避けてください。(混合するとゲル化します。)
2. 水系ポウジンテックス エポキシシーラーⅡは、可使時間を過ぎても増粘・ゲル化は起こしませんが、付着性が低下しますので、可使時間内に手際よく塗装してください。
3. 使用前には十分攪拌してください。
4. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は十分に気をつけてください。
5. ポウジンテックス 強化シーラーを炎天下で塗装すると層間剥離を起こす可能性がありますので施工を避けてください。
6. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マーゼル等で十分攪拌してください。
7. 2液型塗料は、塗料毎の可使時間内に塗装してください。
8. 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
9. 小分けする場合は、十分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
10. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
11. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適さないものもありますので、必ず専用シンナーを使用してください。
12. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。又、開栓後は早目に使い切ってください。
13. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
14. 材料の保管、取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

本社 〒532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎ (06)6391-3151
FAX (06)6393-1101
本社営業部 〒532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎ (06)6391-3401
FAX (06)6391-3456
西日本開発部 〒532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90 ☎ (06)6391-3401
FAX (06)6391-3456
東京支店 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル ☎ (03)3865-8177
FAX (03)3865-8760
東日本開発部 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル ☎ (03)3865-8177
FAX (03)3865-8760
北関東支店 〒348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22 ☎ (048)563-0355
FAX (048)563-5124
中部支店 〒486-0815 愛知県春日井市十三塚町3-6 ☎ (0568)85-3551
FAX (0568)85-3556
広島支店 〒734-0022 広島市南区東雲1-13-16 ☎ (082)284-6556
FAX (082)283-0017
福岡支店 〒811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1 ☎ (092)611-5731
FAX (092)621-2301
仙台営業所 〒984-0042 宮城県仙台市若林区大和町1-22-3 ☎ (022)782-6770
FAX (022)232-6871
札幌営業所 〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条5-2-6 ☎ (011)824-5711
FAX (011)824-6464
工場 本社・埼玉・中部・広島・福岡

塗料に関するご質問、お問い合わせは

塗料相談室 ☎ 06-6391-3039

営業時間 午前 9:00~12:00 午後 1:00~3:00